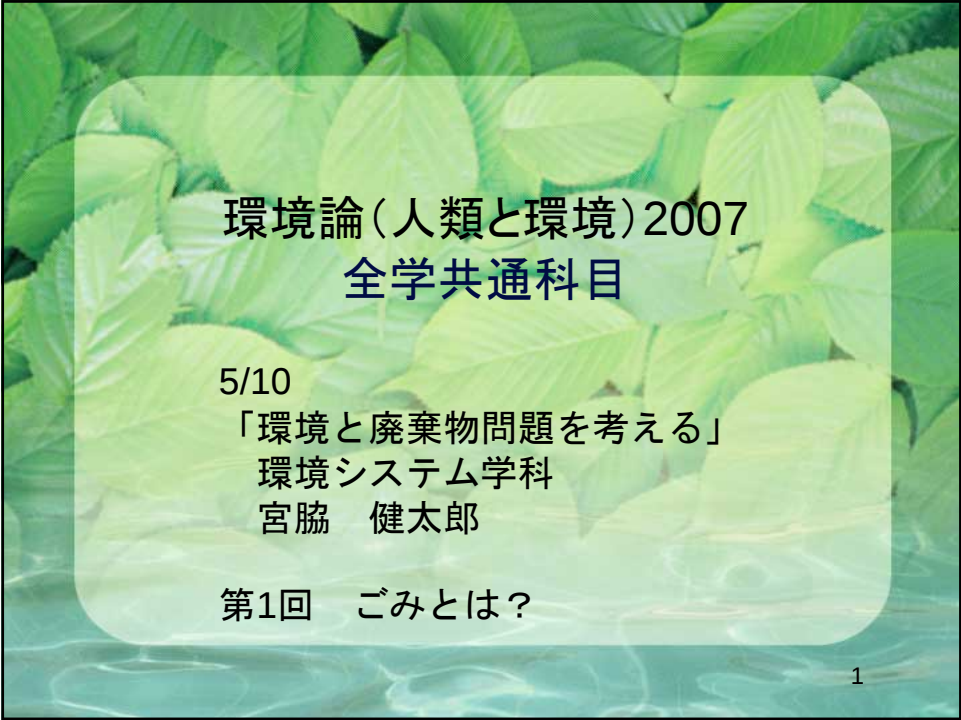




環境論(人類と環境)2007 全学共通科目

5/10

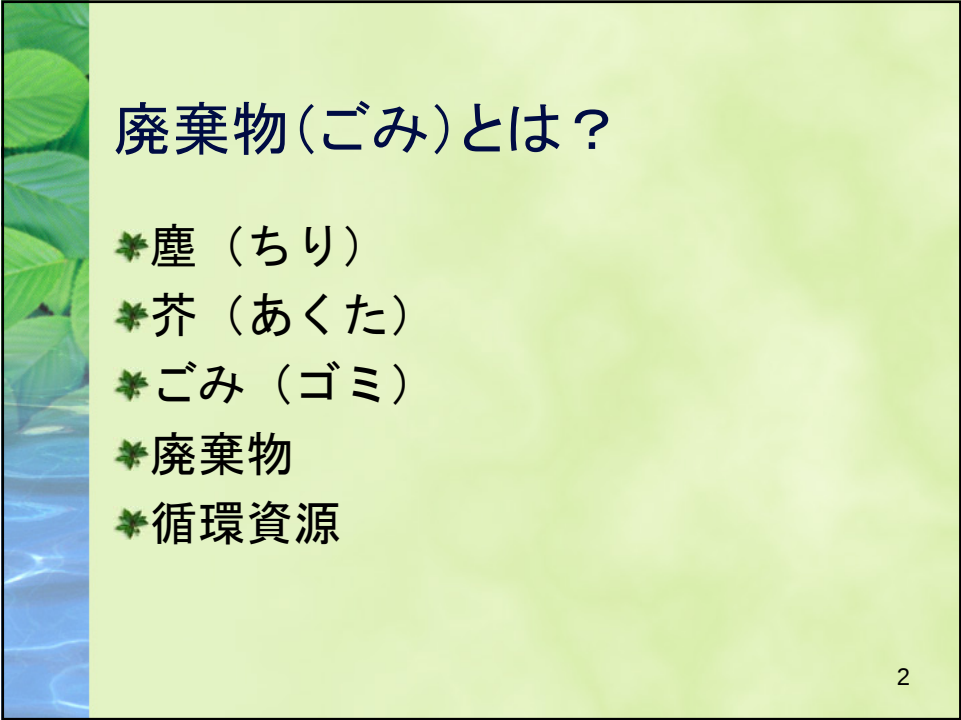
「環境と廃棄物問題を考える」

環境システム学科

宮脇 健太郎

第1回 ごみとは？

1



廃棄物(ごみ)とは？

- ✳ 塵 (ちり)
- ✳ 芥 (あくた)
- ✳ ごみ (ゴミ)
- ✳ 廃棄物
- ✳ 循環資源

2

環境と「ごみ問題」

- ✳ 身近な問題
- ✳ 世界的な問題（Global scale）

3

ごみ・カラス



東京都環境局HP

4

最終処分



ガラス産業連合
会HPより

5

廃材など不法投棄

栃木県警 業者ら5人逮捕

栃木県警生活環境課と黒磯署は24日、同県那須塩原市東原の空き地に建築廃材などを不法投棄した同県河内町の解体業、自称、岩瀬勝男容疑者(72)ら5人を、廃棄物処理法違反(不法投

棄など)の現行犯で逮捕した。

調べでは、業者らは数か月前からほぼ毎日、トラックなどで建築廃材計数十トンを運び込み、パワーショベルを使って埋めていたとみられる。不法投棄の情報を得た捜査員が23日早朝から張り込み、24日午後、トラック2台で廃プラスチックやコンクリート片などを搬入したところを取り押さえた。

2005年5月25日(読売)

ゴミ山崩れ下敷きに

【マニラ10日＝源一秀】フィリピン・マニラ首都圏ケソン市のゴミ廃

棄場で十日朝、ゴミの山が崩れ、再利用品を探していた住民と周辺のバラック建ての民家が下敷きとなり、少なくとも四十三人が死亡、三十八人が重軽傷、六十八人が行方不明となっている。台風による雨で、地盤

生計の手段

が緩んだのが原因だが、七

十軒以上の民家がゴミの下に埋まっていると見られるうえ、現場では火災も発生しており、犠牲者の数はさらに増える見込み。

同廃棄場周辺は、再利用品探しで生計を立てる貧困層の居住地域。この日は台風のため、周辺の学校が休校になっており、犠牲者の中には、子供たちが多く含まれている。

フィリピン 43人死亡、68人不明

7

家のごみ出しについて

- * ごみ分別種類を知っている
はい いいえ
- * 燃えるごみ（可燃），燃えないごみ（不燃）の日が分かる
(調べる方法を知っている)
はい いいえ
- * 分別の種類は？分かる 分からない

8

喫煙者への質問

✳ 歩きタバコは？ はい いいえ

✳ 「はい」と答えた人

✳ 吸殻はポイ捨てすることがある。

はい いいえ

✳ 吸殻は自然に戻ると思う。

はい いいえ

9

ごみはどこへ行く？

✳ 朝、ごみを出した後どこへ行くか知っている

はい いいえ

✳ ごみは最後にどこへ行っているか知っている

はい いいえ

10

有害性など

✳ 「ダイオキシン」聞いたことがある
はい いいえ

✳ 「重金属」聞いたことがある
はい いいえ

11

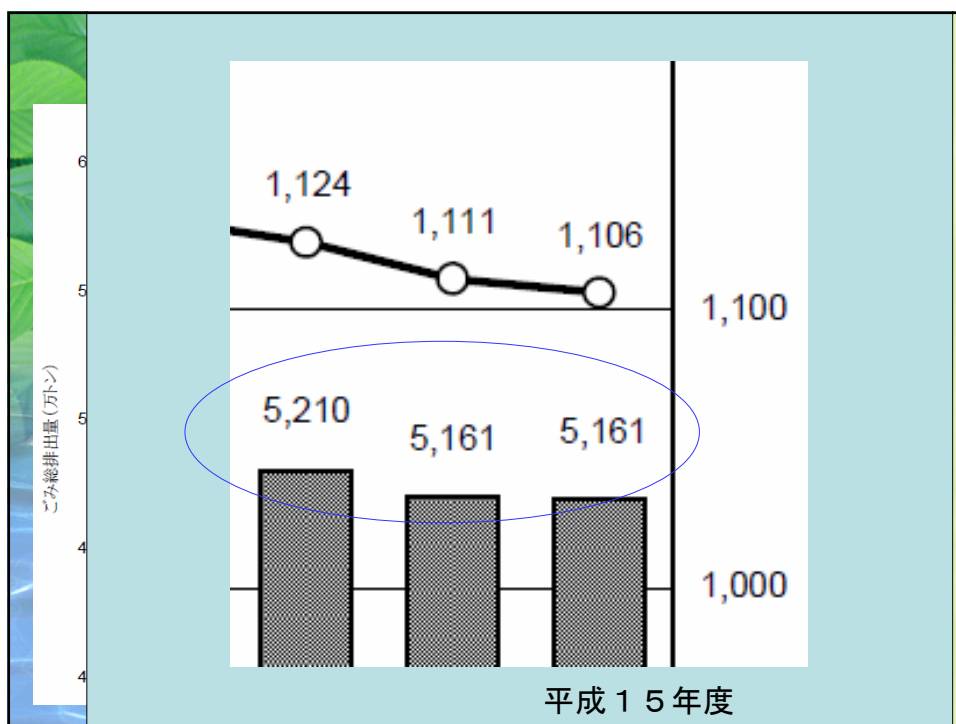
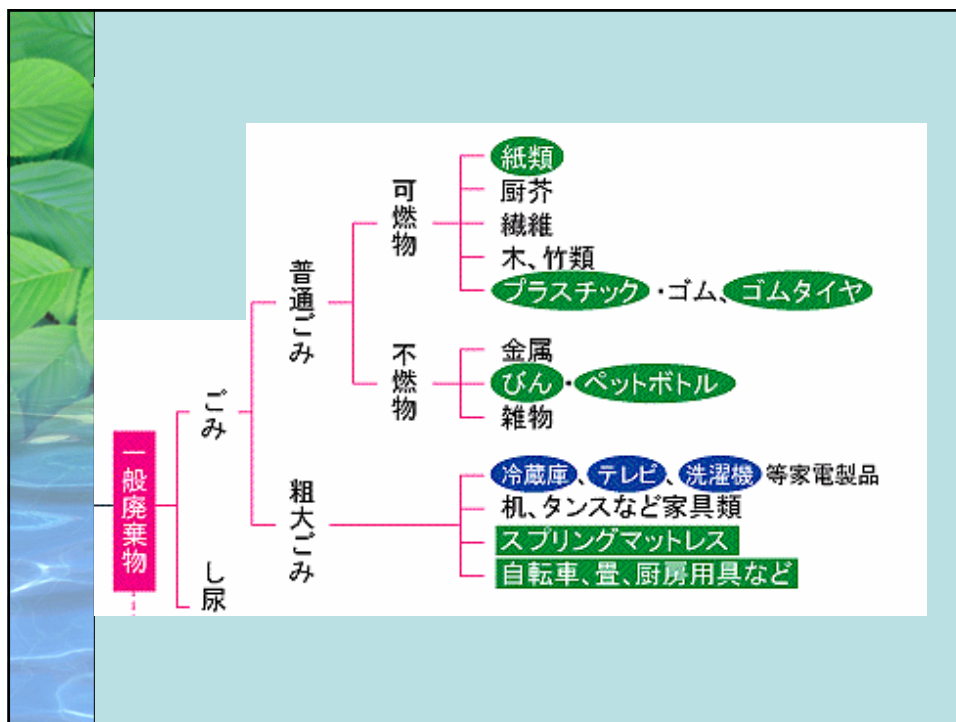
ごみの総排出量(平成17年度)

✳ 一般廃棄物 5,273万トン
(東京ドーム約142杯分)

✳ 産業廃棄物 約4億1000万トン **8倍**



12



一般廃棄物の処理・処分

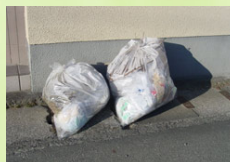
- ✳ 収集・運搬
- ✳ 中間処理（焼却，破砕）
- ✳ 最終処分
- ✳ 資源化（リサイクル）



15

収集・運搬

- ✳ パッカー車
- ✳ 各戸収集，ステーション収集
- ✳ 積み替え
- ✳ 中間処理（焼却）施設への搬入



16

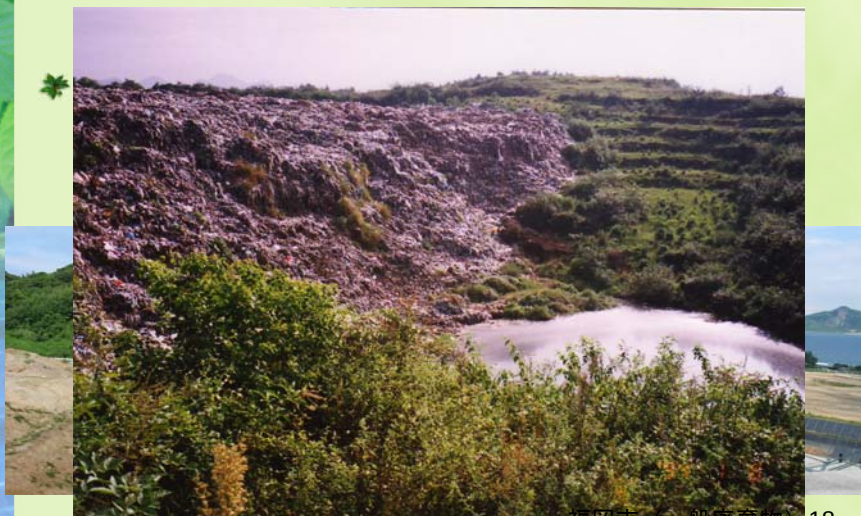
中間処理

✳ 清掃工場（呼称：クリーンセンターなど）

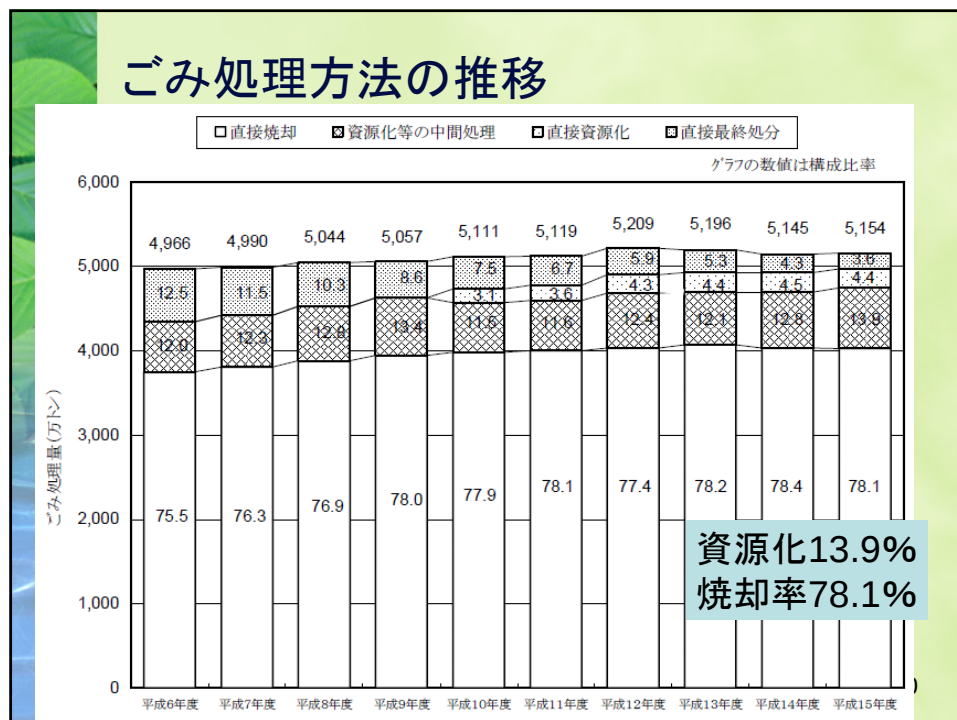
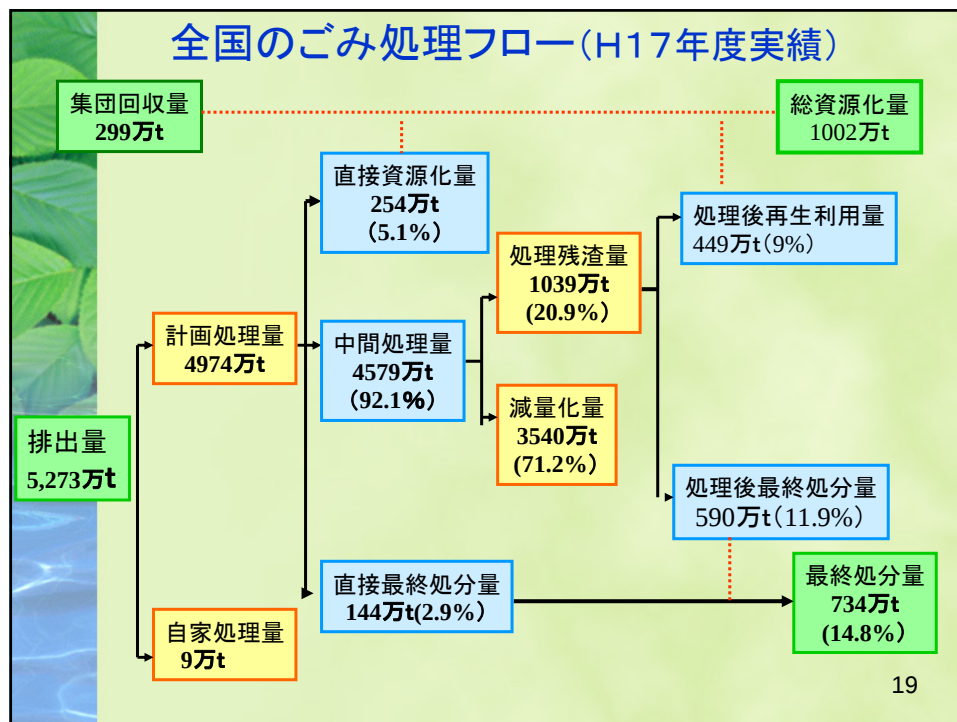


17

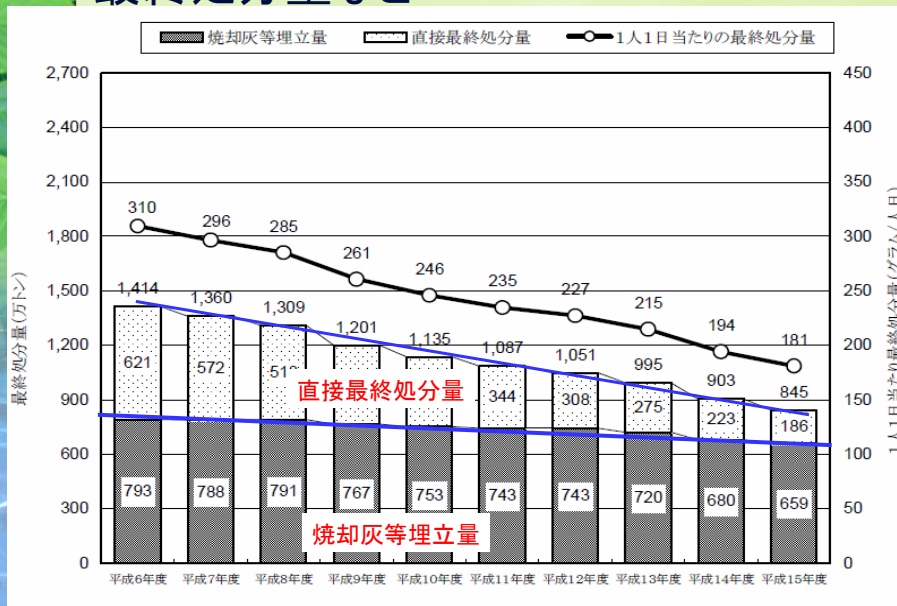
最終処分



福岡市（一般廃棄物） 18



最終処分量など

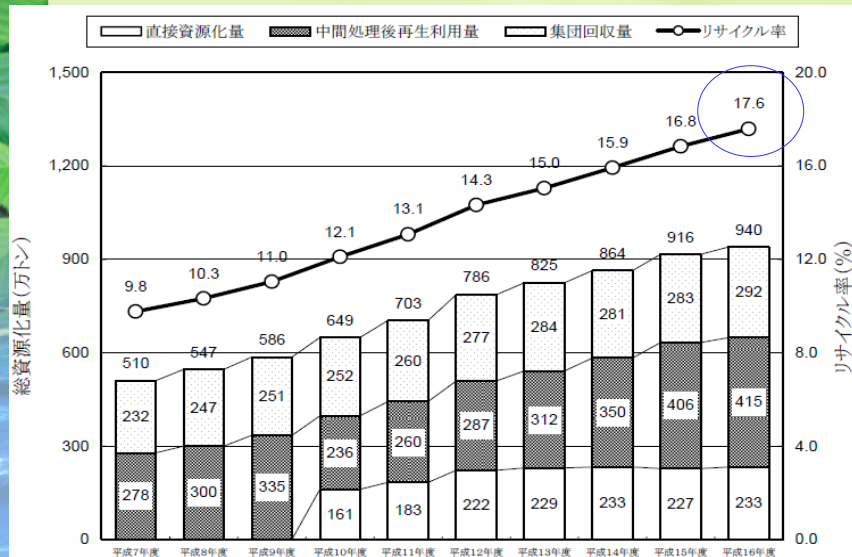


最終処分場の状況

(平成17年度末現在 1846施設)

- ✳ 残余容量 1億3,8万 m^3
- ✳ 残余年数 平均14年
- ✳ 首都圏 15 年分

リサイクルの現状



平成7年度

平成16年度²³

資料

(1) ごみ排出の状況：

ごみ総排出量5,059 万トン（前年度 5,161 万トン）〔2.0%減〕、1人1日当たりのごみ排出量1,086 グラム（前年度 1,106 グラム）〔1.8%減〕

(2) ごみ処理の状況：

総資源化量（再生利用量）940 万トン（前年度 916 万トン）〔2.6%増〕、中間処理による減量3,594 万トン（前年度 3,676 万トン）、最終処分量809 万トン（前年度 845 万トン）〔4.2%減〕、減量処理率96.5 %（前年度 96.4%）・直接埋立率3.5 %（前年度 3.6%）、リサイクル率17.6 %（前年度 16.8%）〔0.8ポイント増〕

(3) ごみ焼却施設の状況：

（平成16年度末現在）・施設数1,374 施設（前年度 1,396 施設）〔1.6%減〕・処理能力195,952 トン/日（前年度 193,856 トン/日）・1施設当たりの処理能力143 トン/日（前年度 139 トン/日）・余熱利用を行う施設数992 施設（前年度 995 施設）・発電設備を有する施設数281 施設（前年度 271 施設）（全体の20%）・総発電能力1,491 千kW（前年度 1,441 千kW）〔3.5%増〕

(4) 最終処分場の状況：

（平成16年度末現在）・残容量1億3,052万m³（前年度 1億3,708 万m³）〔4.8%減〕・残余年数13.2年（前年度13.2年）²⁴



課題

✳「きちんと、ごみ分別をするための方策を立てよ」

✳問題

(1)1人1日どのくらいごみを出すか？

1. 500g 2. 1,000g 3. 1,500g

(2)最終処分場は、あと何年ぐらい？

1. 5年 2. 15年 3. 30年